



IT Holdings

# 2013年3月期 決算説明資料

平成25年5月10日

ITホールディングス株式会社

Copyright © 2013 IT Holdings Corporation

ITホールディングスグループ

2013年3月期 業績概要

2014年3月期 業績見通し

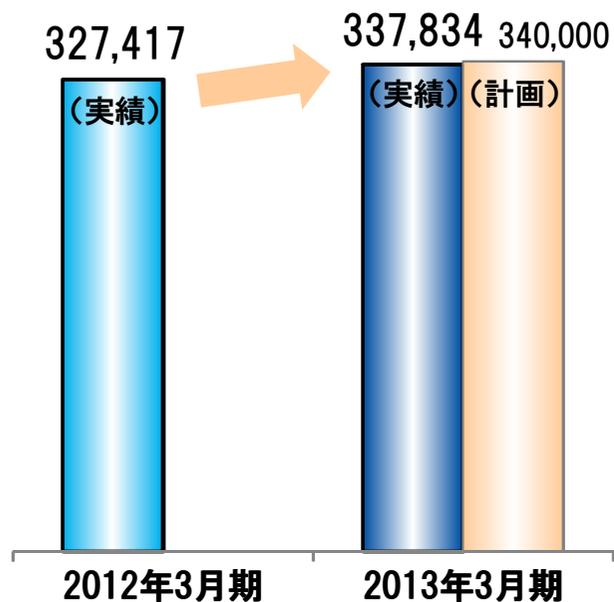
第2次中期経営計画の進捗状況・トピックス

参考資料

- 当初は先行き不透明感が強く見られ、年度後半にかけて景気拡大への機運が徐々に高まる状況の中、ITHDグループは前期比増収増益となった。
- 売上高・当期純利益は概ね計画通りとなり、営業利益は計画を上回った。

### <売上高>

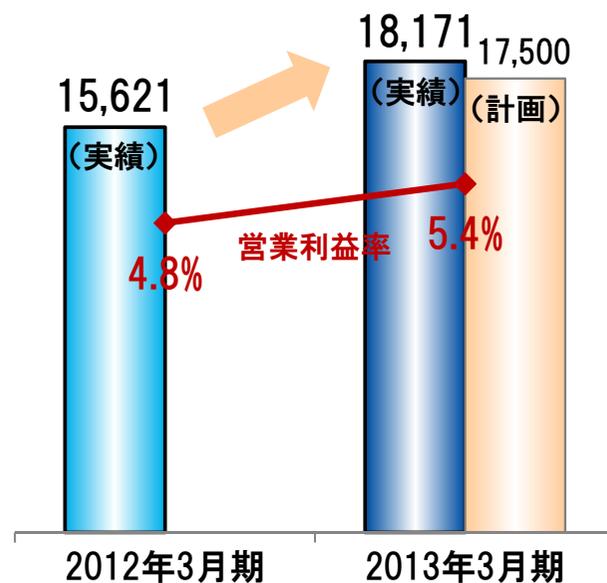
前期比: +10,417百万円(+3.2%)  
計画比: ▲2,166百万円(▲0.6%)



産業ITサービスが牽引したほか、金融ITサービスも緩やかに回復したことから前期比増収。

### <営業利益>

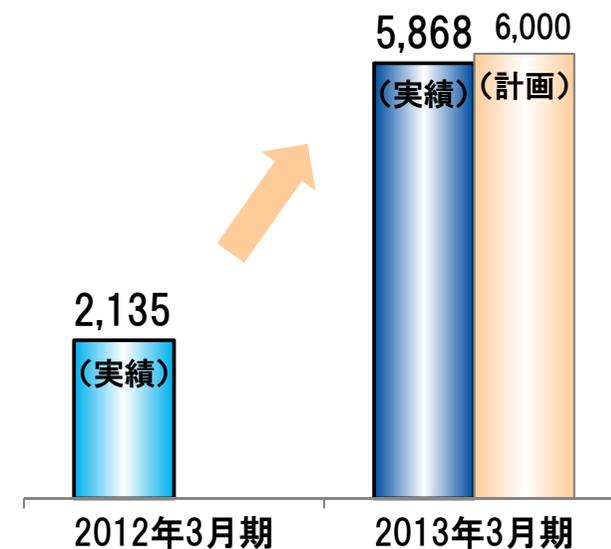
前期比: +2,550百万円(+16.3%)  
計画比: +671百万円(+3.8%)



増収効果や生産性向上等に加え、オフィス移転・集約や事業会社間の再編効果が発現したことから前期比増益。

### <当期純利益>

前期比: +3,733百万円(+174.8%増)  
計画比: ▲132百万円(▲2.2%)



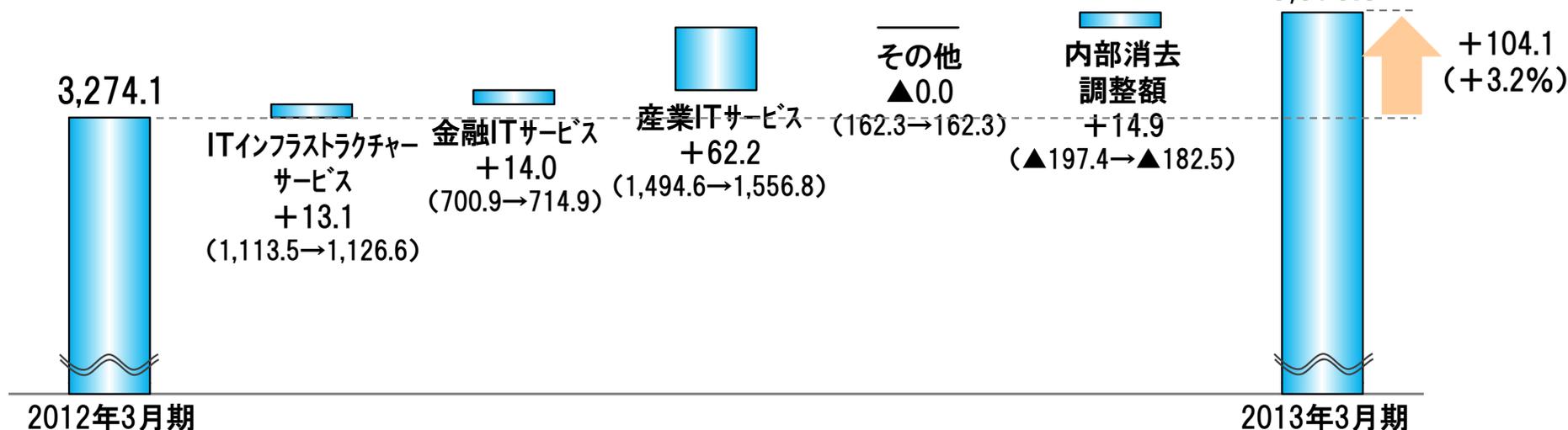
営業増益に加え、構造改革費用等の特別損失が減少したことから前期比増益。

# 2013年3月期 売上高・営業利益増減分析

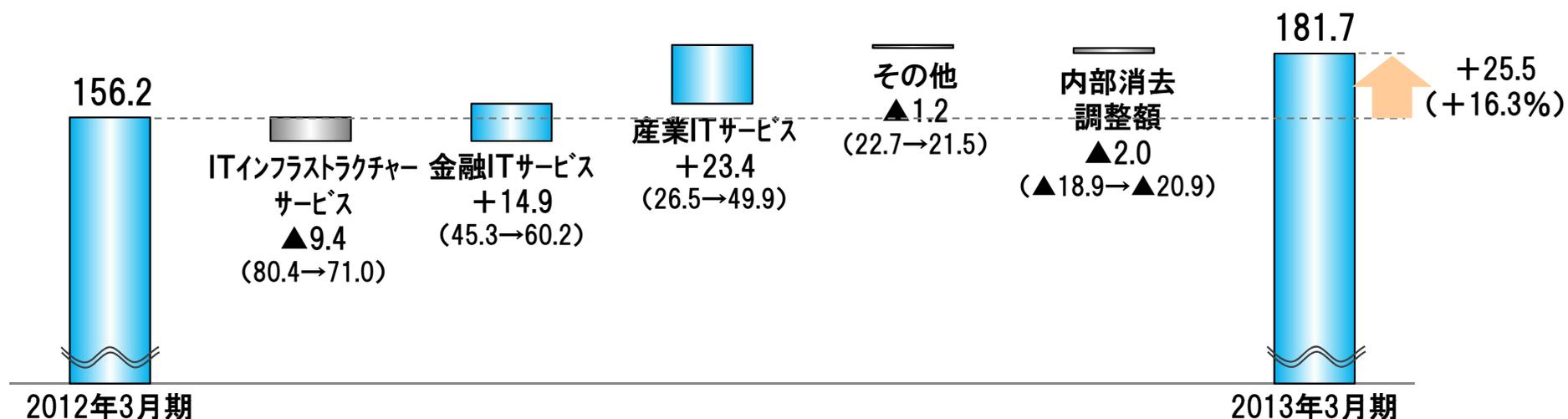
(単位:億円)



## <売上高>



## <営業利益>



# 2013年3月期 主要セグメント別損益状況

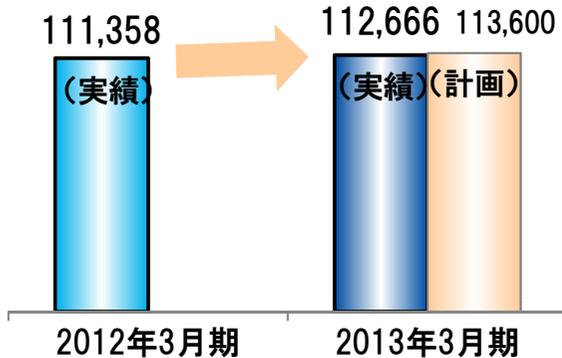
(単位:百万円)



## ITインフラストラクチャーサービス

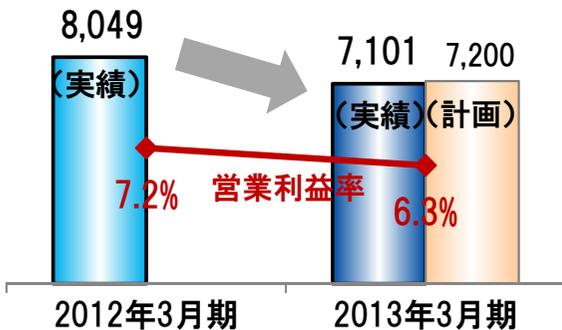
### <売上高>

前期比: +1,308百万円(+1.2%)  
 計画比: ▲934百万円(▲0.8%)



### <営業利益>

前期比: ▲948百万円(▲11.8%)  
 計画比: ▲99百万円(▲1.4%)

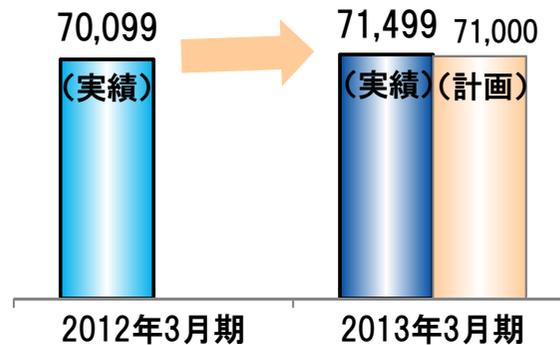


GDC御殿山における大口顧客の利用開始等もあり、前期比増収となったが、需要増加に対応した先行投資や電力料値上げの影響等により前期比減益。

## 金融ITサービス

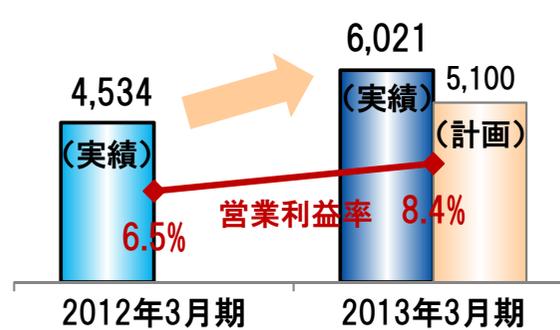
### <売上高>

前期比: +1,400百万円(+2.0%)  
 計画比: +499百万円(+0.7%)



### <営業利益>

前年比: +1,487百万円(+32.8%)  
 計画比: +922百万円(+18.1%)

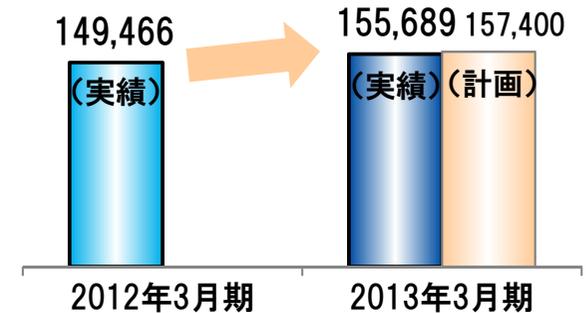


主要顧客のクレジットカード会社におけるIT投資再開の動きが牽引するとともに、コスト削減効果等により、前期比増収増益。

## 産業ITサービス

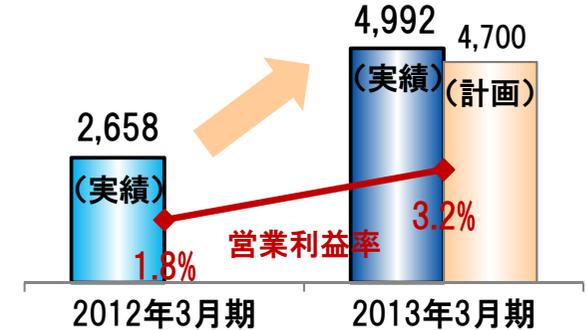
### <売上高>

前期比: +6,223百万円(+4.2%)  
 計画比: ▲1,711百万円(▲1.1%)



### <営業利益>

前期比: +2,334百万円(+87.8%)  
 計画比: +292百万円(+6.2%)



製造業大手顧客向けの大型開発案件が牽引するとともに、コスト削減効果等により、前期比増収増益。

各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

中小型案件を中心に積み上げ、当期受注高・期末受注残とも前期を上回った。

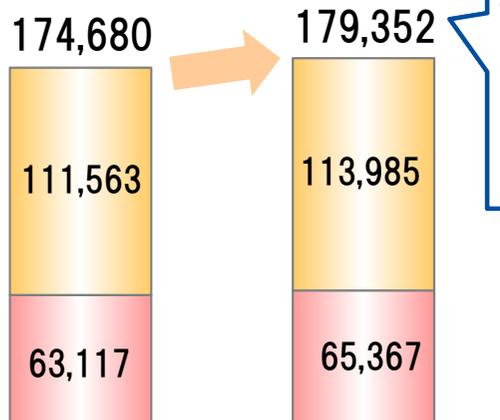
<2012年3月期>



<2013年3月期>



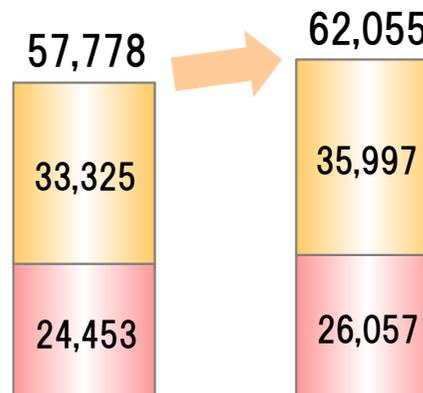
<当期受注高>



+4,672百万円(+2.7%)  
 ・産業ITサービス  
 +2,422百万円(+2.2%)  
 ・金融ITサービス  
 +2,250百万円(+3.6%)

■ 産業ITサービス  
 ■ 金融ITサービス

<期末受注残>



+4,277百万円(+7.4%)  
 ・産業ITサービス  
 +2,672百万円(+8.0%)  
 ・金融ITサービス  
 +1,604百万円(+6.6%)

■ 産業ITサービス  
 ■ 金融ITサービス

2012年3月期

2013年3月期

2012年3月期末

2013年3月期末

当期受注高・当期末受注残・当期売上高は「ソフトウェア開発」に係るもののみ。

# 受注状況(四半期別推移)

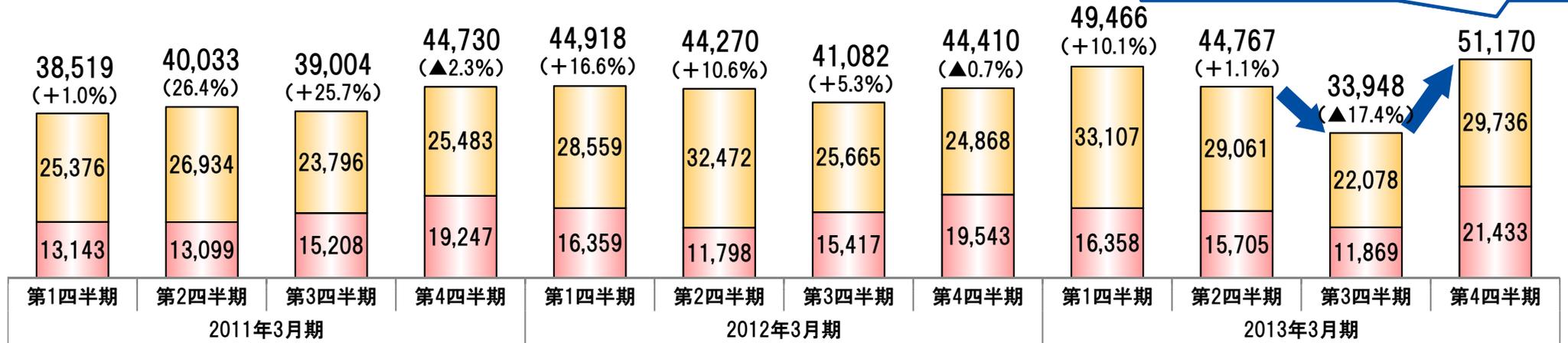
(単位:百万円)



## <受注高>

- 産業ITサービス
- 金融ITサービス

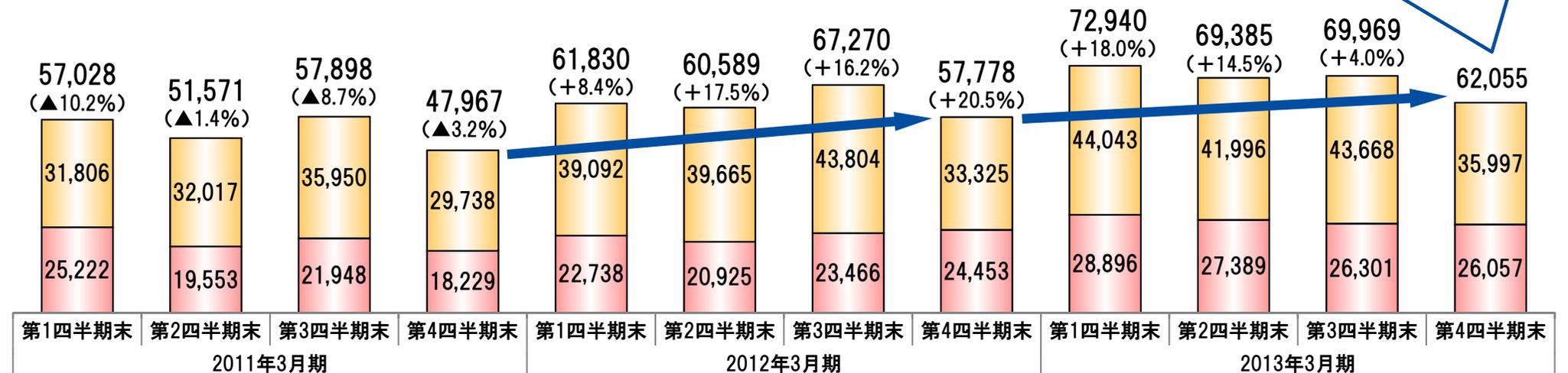
前年同期比: +6,760百万円(+15.2%)  
 ・産業ITサービス +4,868百万円(+19.6%)  
 ・金融ITサービス +1,890百万円(+9.7%)



## <期末受注残>

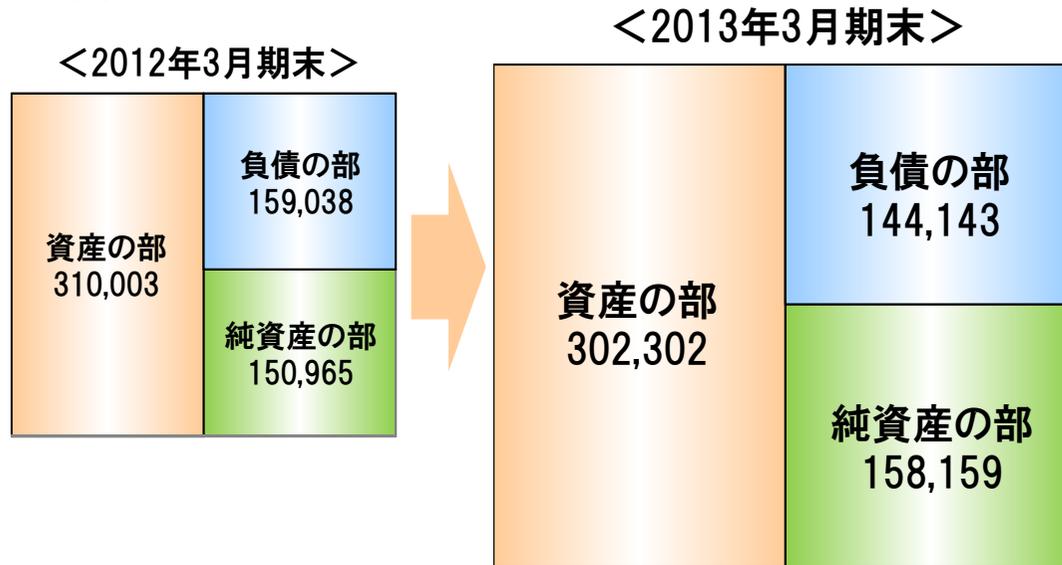
- 産業ITサービス
- 金融ITサービス

前年同期比: +4,277百万円(+7.4%)  
 ・産業ITサービス +2,672百万円(+8.0%)  
 ・金融ITサービス +1,604百万円(+6.6%)



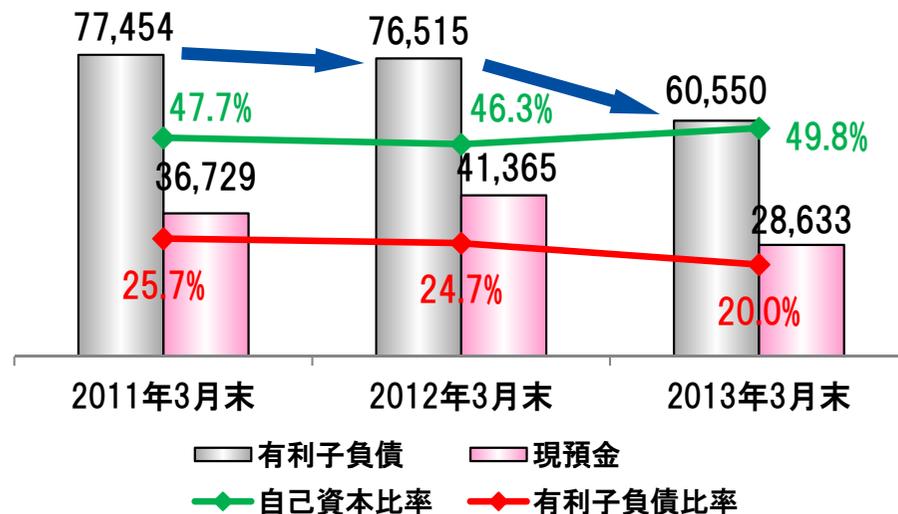
当期受注高・当期末受注残・当期売上高は「ソフトウェア開発」に係るもののみ。カッコ内の数値は前年同期比増減率。

## 貸借対照表の状況

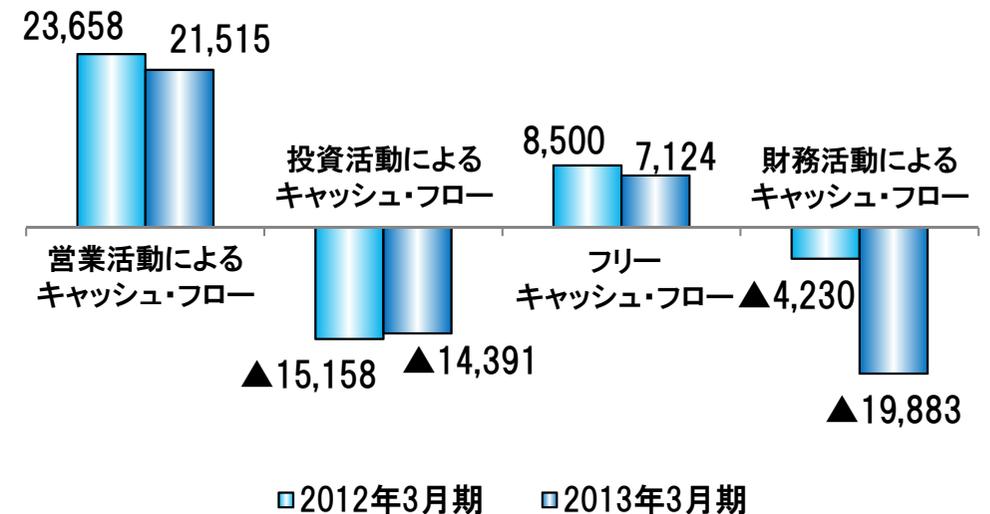


- 資産の部: ▲7,701百万円
  - ・流動資産: ▲4,223百万円  
(現金及び預金: ▲12,731百万円、有価証券: +5,200百万円、受取手形及び売掛金: +3,658百万円 等)
  - ・固定資産: ▲3,477百万円  
(繰延税金資産: ▲1,774百万円、のれん: ▲1,688百万円 等)
- 負債の部: ▲14,895百万円
  - ・流動負債: +7,997百万円  
(短期借入金: +9,754百万円 等)
  - ・固定負債: ▲22,893百万円  
(長期借入金: ▲25,620百万円 等)
- 純資産の部: +7,194百万円
- 自己資本比率: 49.8%(+3.5%)
- 有利子負債: 60,550百万円(▲15,966百万円)

## 有利子負債の状況



## キャッシュ・フローの状況



2013年3月期 業績概要

**2014年3月期 業績見通し**

第2次中期経営計画の進捗状況・トピックス

参考資料

景況感の回復から事業環境の改善を期待。但し、IT投資に対する姿勢は業種/企業で異なる。

### <ITインフラストラクチャーサービス>

- BCP・DRの観点からデータセンター活用に対する引き合いは引き続き堅調。
- 一方、クラウド化や標準化の進展等に伴い、価格面への影響が懸念される。



### <金融ITサービス>

- クレジットカードでは法改正に伴うIT投資後、抑制していたIT投資再開の動きを維持。
- メガバンクや保険ではシステム統合や基幹システム刷新等により、高水準のIT投資が継続。また、地銀もシステム共同化や顧客管理強化等でIT投資は堅調。
- 証券では最近の株式市場の活況に伴い、IT投資に対して積極姿勢に転じる。



### <産業ITサービス>

- 製造では円安や業績改善等を背景に、抑制していたIT投資再開への期待が強まる。
- サービス・流通では競争力強化のためのIT投資を強めている。
- 通信ではスマートフォン関連の通信ネットワーク/システム投資が引き続き好調。
- 公共では国会で審議入りした「マイナンバー」法案が成立すれば制度導入に向けてIT投資の拡大が期待できる。

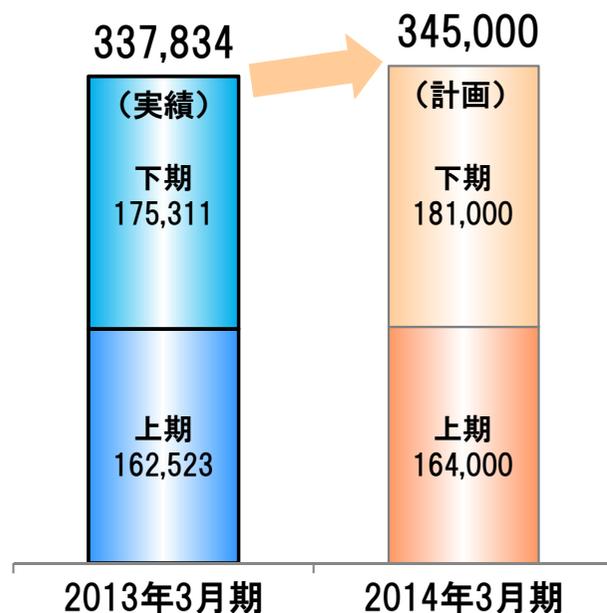


ITHDグループの顧客動向も参考にしているため、一般の状況と異なる場合があります。

- 景況感の回復基調に歩を合わせ、事業環境の改善を見込み、増収増益を計画。
- 第2次中期経営計画の達成を目指し、グループを挙げて着実に進む。

### <売上高>

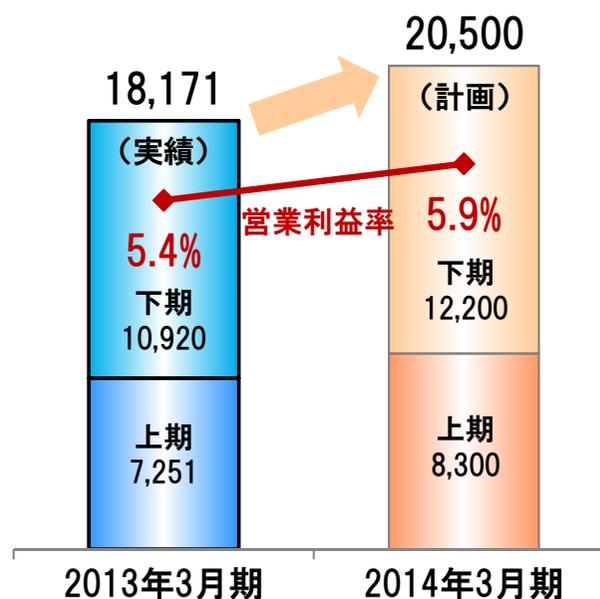
前期比: +7,166百万円(+2.1%)



製造業大手顧客向け大型開発案件のピークアウトによる減少をカバーして、前期比増収を見込む。産業ITサービスが牽引。

### <営業利益>

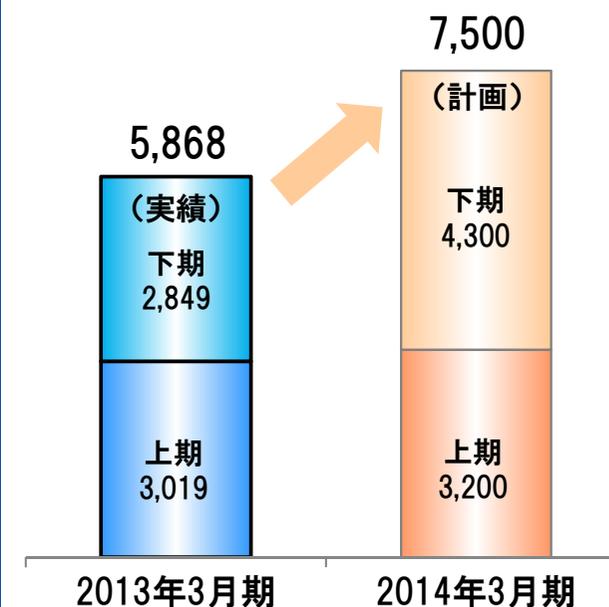
前期比: +2,329百万円(+12.8%)



増収効果や生産性向上、不採算案件の抑制等により、前期比増益を見込む。

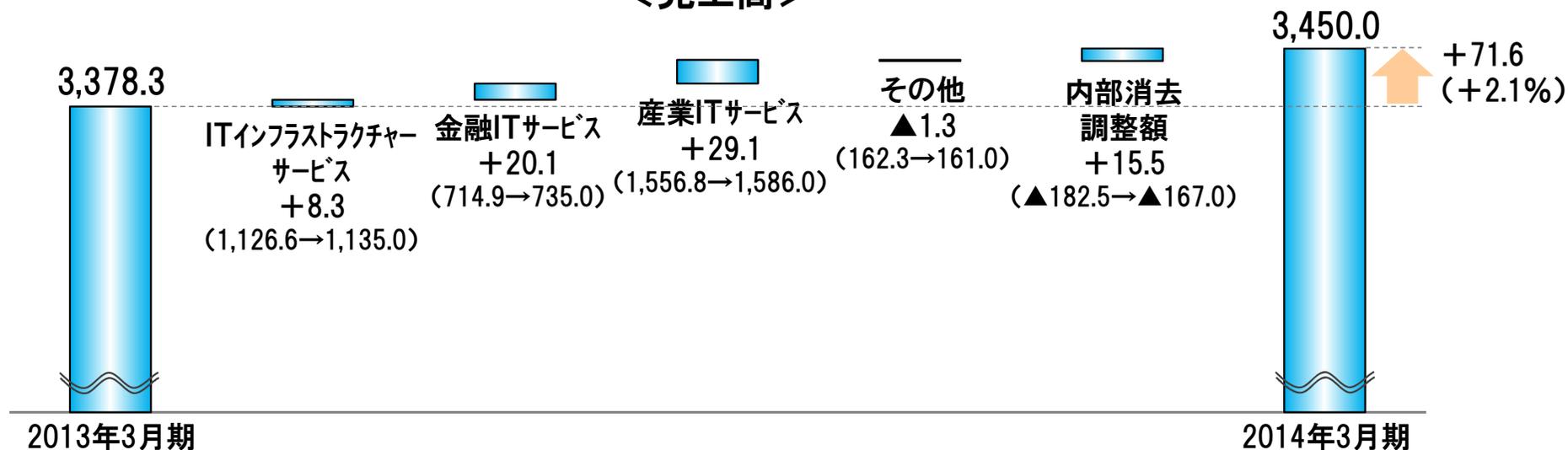
### <当期純利益>

前期比: +1,632百万円(+27.8%)

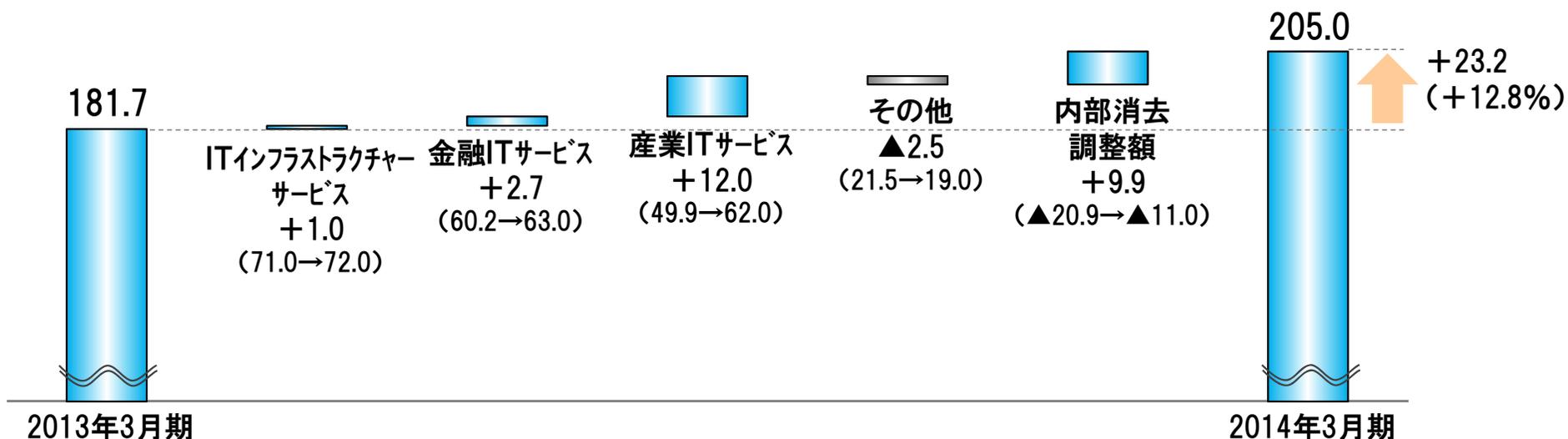


営業増益に加え、特別損失の減少により、前期比増益を見込む。

<売上高>



<営業利益>



# 2014年3月期 主要セグメント別損益状況

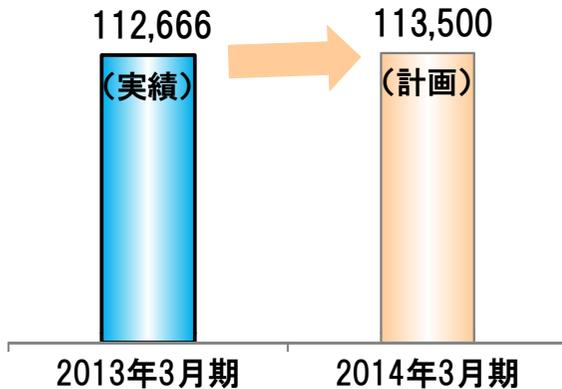
(単位:百万円)



## ITインフラストラクチャーサービス

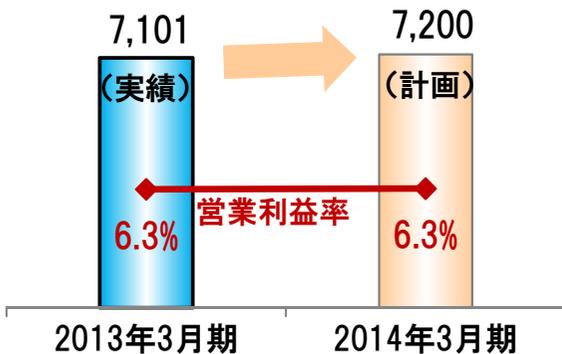
<売上高>

前期比: +834百万円(+0.7%)



<営業利益>

前期比: +99百万円(+1.4%)

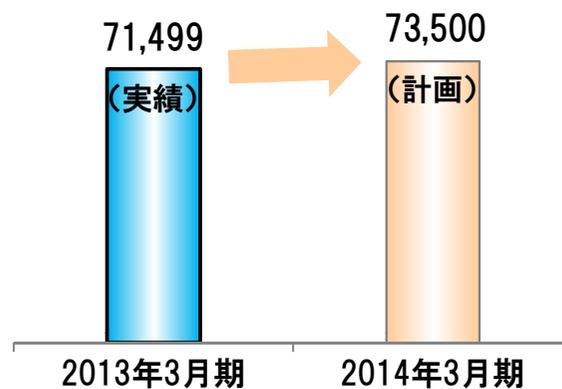


GDC御殿山の損益改善等に伴い、前期比増収増益を見込む。

## 金融ITサービス

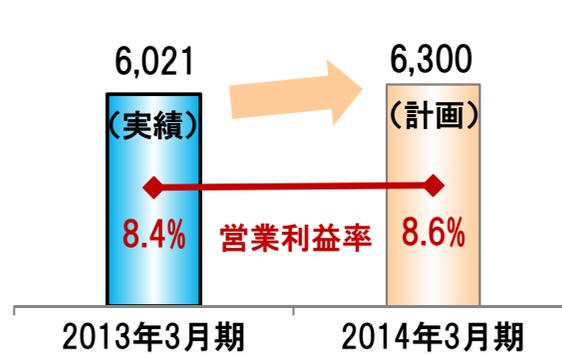
<売上高>

前期比: +2,001百万円(+2.8%)



<営業利益>

前年比: +279百万円(+4.6%)

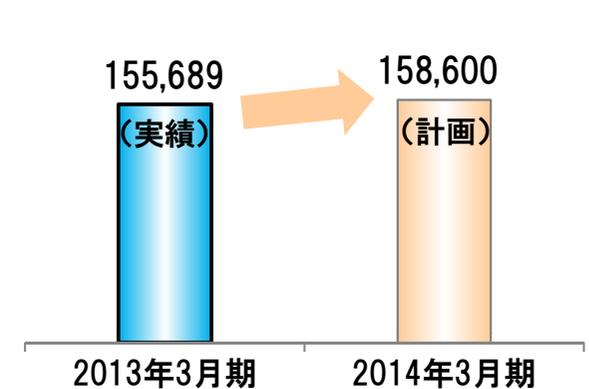


銀行やクレジットカードの伸びに伴い、前期比増収増益を見込む。

## 産業ITサービス

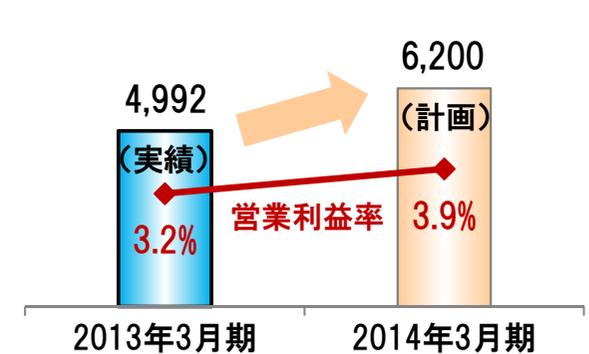
<売上高>

前期比: +2,911百万円(+1.9%)



<営業利益>

前期比: +1,208百万円(+24.2%)



製造業大手顧客向け大型開発案件のピークアウトによる減少を案件積み上げでカバーするとともに、不採算案件の抑制により増収増益を見込む。

各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

配当の基本方針

- 長期的かつ総合的な利益還元
- 業績動向・財務状況
- 事業発展に備えるための内部留保の充実



- ・安定的な配当の継続
- ・連結配当性向30%を目安

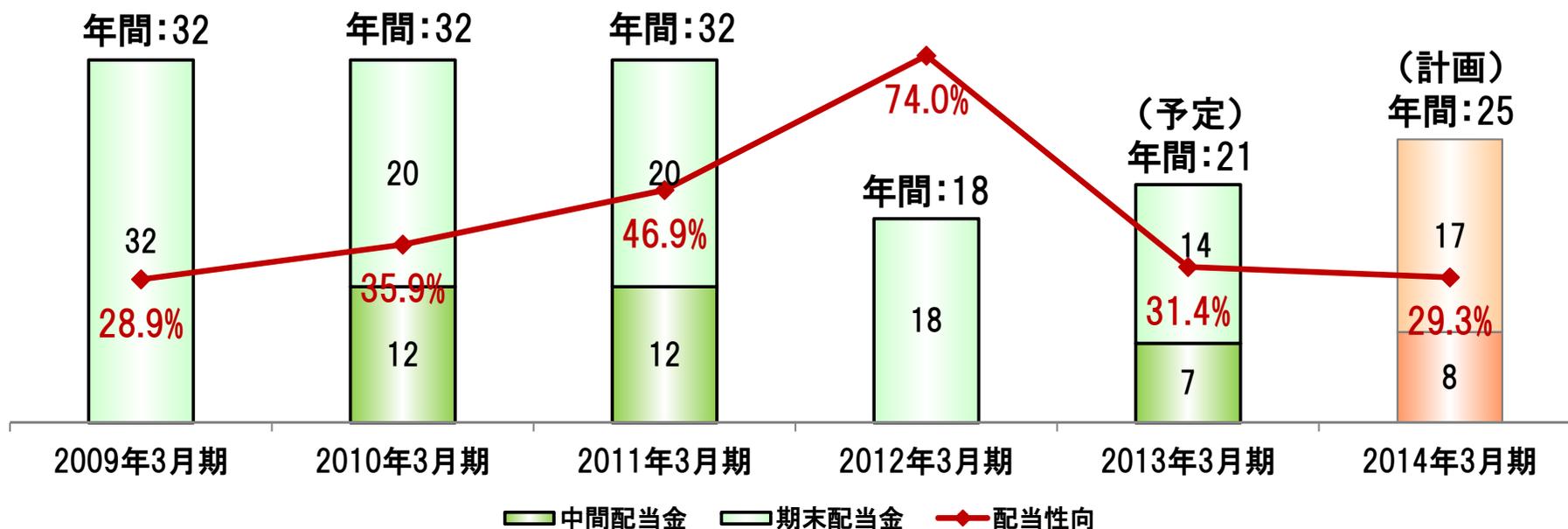
1株当たり年間配当金

2013年3月期  
21円(予定)

+4円

2014年3月期  
25円(計画)

<1株当たり配当金の推移>



2009年3月期は設立初年度で決算未経過のため、期末配当金のみ。期末配当金には5円の記念配当を含む。

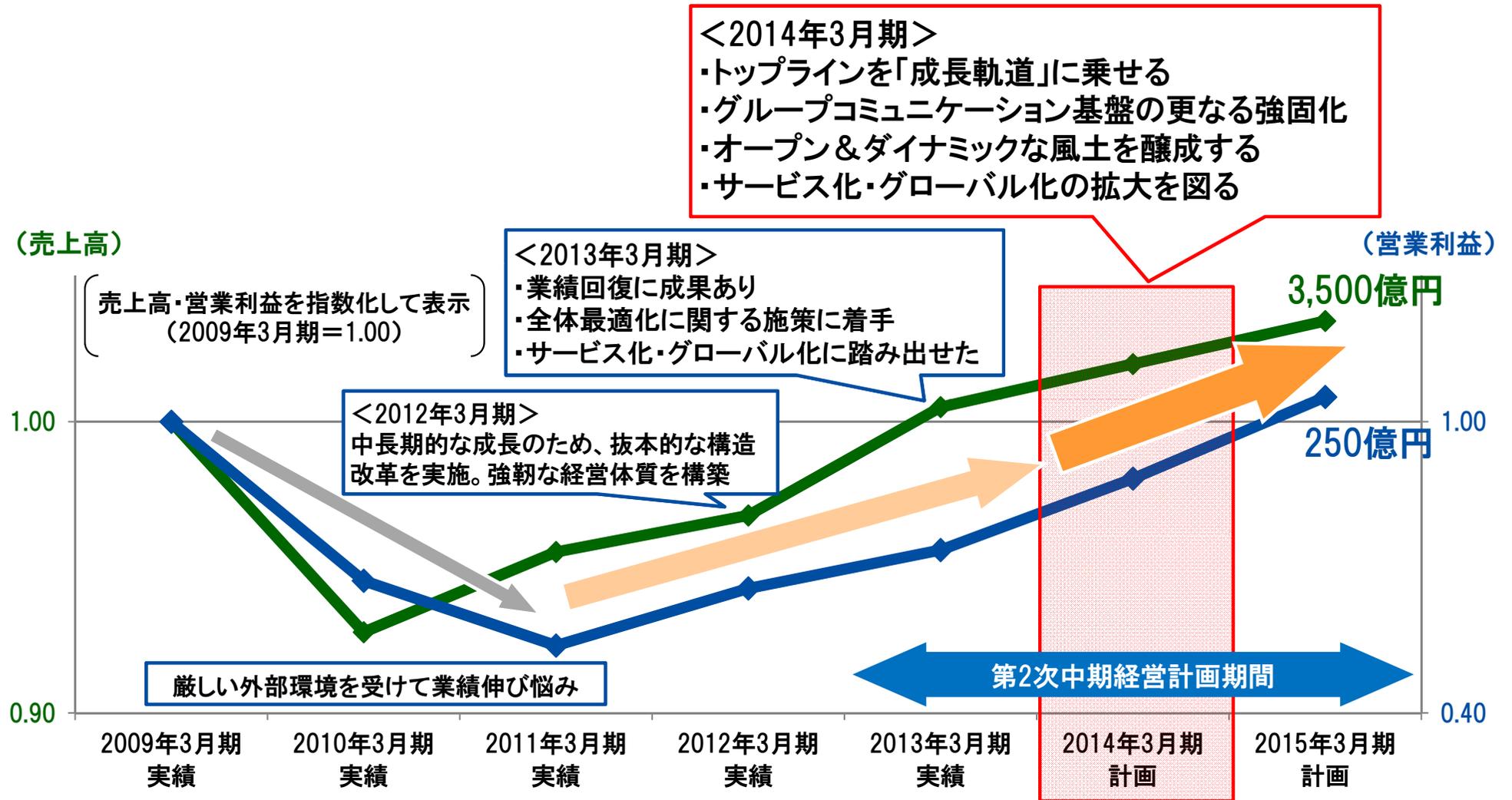
2013年3月期 業績概要

2014年3月期 業績見通し

**第2次中期経営計画の進捗状況・トピックス**

参考資料

# 第2次中期経営計画と2014年3月期の位置付け



＜第2次中期経営計画(2013年3月期～2015年3月期)＞

- スローガン:変革への挑戦 - Brave Steps 2014 -
- 基本コンセプト:「トップライン重視」、「as One Company」、「進取果敢」

＜目指す企業グループ像＞  
グループが一体となって  
変革を成し遂げるIT企業グループ

「第2次中期経営計画 基本コンセプト」と「ITHDグループ経営方針」

**<トップライン重視>**

2013年3月期

本格的なV字回復を果たす年度と位置付け、売上高拡大を図る

- ・コア事業、成長分野に注力できる体制の構築
- ・顧客基盤の再構築、成長分野への取組み強化
- ・営業の改革を図る

業績回復に成果あり

- ・売上高成長:前期比+3.2%
- ・不採算事業からの撤退(3社)
- ・ビジネスモデルに即した企業再編・資源再編

2014年3月期

業績回復を確実にすべく、トップラインを「成長軌道」に乗せる

- ・新規市場/顧客、新規技術の開拓
- ・顧客経営層へのアプローチ強化
- ・案件シナジーから事業領域・戦略シナジーを創出し、強い部分をより強くする
- ・開発ビジネスのエンジニアリング化推進(開発センター・生産性改革推進室等)

**<as One Company>**

2013年3月期

グループ全体最適に向け一体感を醸成する

- ・コーポレート機能の整理集約
- ・強靱な財務基盤の確立
- ・ブランド(商品/コーポレート)の強化
- ・ITHDカレッジの活動開始

全体最適化に関する施策に着手

- ・グループ全体の販管費削減:前期比▲29億円
- ・ブランド委員会の編成・開始
- ・ITHDカレッジの開設

2014年3月期

グループコミュニケーション基盤の更なる強化とオープン&ダイナミックな風土を醸成する

- ・ITHDカレッジの拡充:一体感とベストプラクティス展開
- ・グループブランド:ブランドのガイドライン導入
- ・バックオフィス効率化:シェアードサービス会社の業務範囲拡充

**<進取果敢>**

2013年3月期

事業面の変革を行うサービス化・グローバル化へ踏み出す

- ・マーケティング機能の強化
- ・ASEANを中心としたグローバル化加速
- ・投資委員会の設置

サービス化・グローバル化に踏み出した

- ・グローバル化:拠点開設・拡充
- ・サービス化:先行サービスの導入は好調に推移

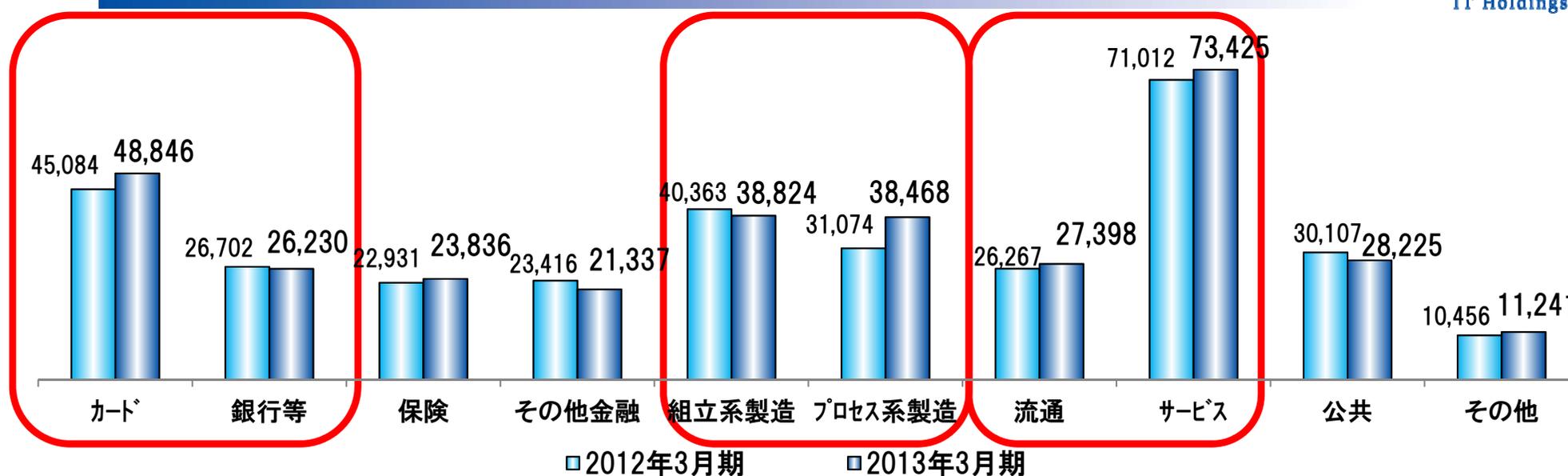
2014年3月期

サービス化・グローバル化の拡大を図る

- ・グローバル化:更なる拠点開設検討、中国・ASEANの事業立上げ・収益化
- ・サービス化:クラウドサービスを中心にメニュー強化・拡充

# ITHDグループの強み(産業別)

(単位:百万円)

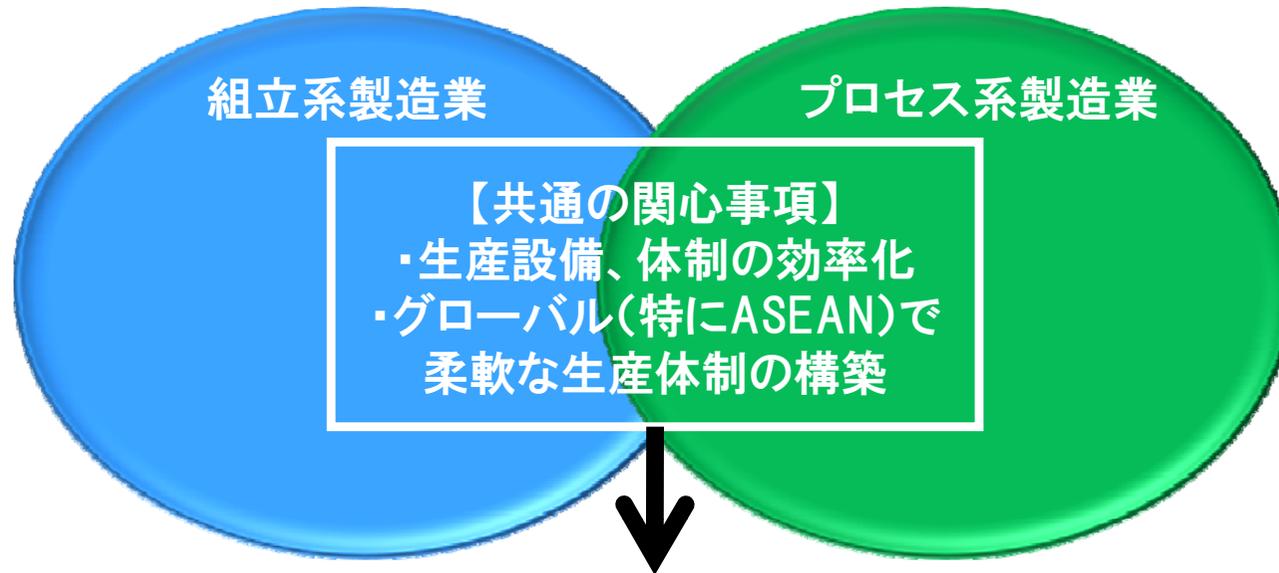


	クレジットカード、銀行	製造業(組立、プロセス)	サービス、流通
2013年3月期売上高(百万円)	75,076	77,292	100,823
主要顧客	・クレジットカード会社大手を中心に幅広くシステム提供 ・地銀 顧客数40社超	建機大手、化学大手	商社、食品 情報関連(SNS・EDI大手)
主要事業会社	TIS、インテック	TIS、クオリカ、AJS	TIS、インテック
ビジネステーマ	決済ビジネス拡充、ビッグデータ、共通インフラの活用	グローバル展開、ITを活用したビジネス展開	ビッグデータ、基盤系サービス
ガートナー予測 2013年前年比成長率 (モデルケース) ※ 全産業平均 +1.2%	+1.7% (金融)	+1.3%	+1.0%

※出典:ガートナー「2012年4Q版日本の産業別ITサービス市場規模予測」2013年1月31日

免責条項:ここに述べられたガートナーのレポート(以下「ガートナーのレポート」)は、ガートナーのシンジケート購読サービスの一部として顧客向けに発行されたデータ、リサーチ・オピニオンもしくは視点を表したものであり、事実を表現したものではありません。ガートナーの各レポートは、レポート発行時点における見解であり、この企業レポート発行時点のものではありません。またガートナーのレポートで述べられた意見は、事前の予告なしに変更されることがあります。

【製造業】



【ITHDグループの最近の取り組み】

1. プロセス系製造業大手顧客の基幹システムの構築
2. 海外拠点の拡大  
シンガポール(クオリカ、TIS)、 タイ(インテック)、 ベトナム(アグレックス)

【ITHDグループの今後の重点的に取り組む項目】

1. プロセス系製造業大手の基幹システムの構築(継続)
2. データセンターをグローバルデータセンター、クラウド拠点として活用
3. 海外拠点の拡充、効率化
  - (1) ASEAN地域でのデータ(BPO)センター建設の検討
  - (2) ASEAN現地企業のM&A等により、現存拠点の拡充
  - (3) 中国拠点の統廃合による経営資源の効率化

## 【BPO市場の概観、ITHDの見解】

- ・BPO市場は成熟化が進む日本のIT市場の中でも、顧客の業務効率化やコスト削減を目的としたバックオフィス業務の外部委託ニーズは強く、成長余地が大きい分野と認識。
- ・当社グループのアグレックスは、当該分野の業界リーダーとして顧客やナレッジを広範に保有。

ガートナー予測(ベスト・ケース) ※	2013年	2014年	2015年
市場規模(百万円)	1,115,128	1,134,977	1,155,922
前年比成長率	+2.2%	+1.8%	+1.8%
(ITサービス計 前年比成長率)	(+2.1%)	(+1.6%)	(+1.5%)

※出典:ガートナー「国内BPO市場規模予測」(出典:ガートナー「2013年1Q版日本のセグメント別ITサービス市場規模予測」 2013年04月30日)

免責条項:ここに述べられたガートナーのレポート(以下「ガートナーのレポート」)は、ガートナーのシンジケート購読サービスの一部として顧客向けに発行されたデータ、リサーチ・オピニオンもしくは視点を表したものであり、事実を表現したものではありません。ガートナーの各レポートは、レポート発行時点における見解であり、この企業レポート発行時点のものではありません。またガートナーのレポートで述べられた意見は、事前の予告なしに変更されることがあります。

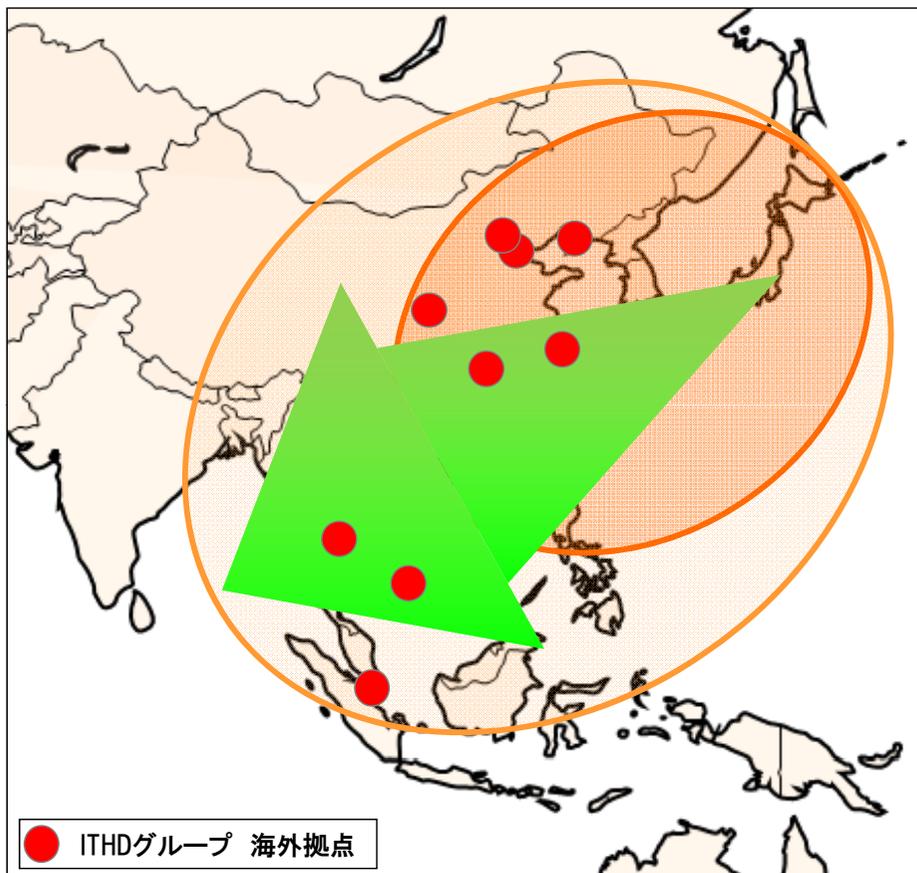
## 【ITHDグループの最近の取り組み】

アグレックス-FPT(ベトナムNO.1 IT企業)のBPOに関する合弁会社設立(2014年3月期上期予定)

## 【ITHDグループの今後の重点的に取り組む項目】

1. グループ内のBPO事業の集約
2. 海外拠点の拡充  
ASEAN地域でのデータ(BPO)センター建設の検討
3. M&A  
国内、海外(ASEAN現地)企業のM&Aにより、事業拡大のスピードを加速

グローバル展開を加速、中国に加えてASEAN地域における事業展開に向けて体制整備を推進



<ITHDグループにおける最近の主な動き>

【中国】

- ・天津TIS海泰と中国最大のCDN(Contents Delivery Network)事業者ChinaCacheが事業提携(2012年3月)
- ・「翔雲」の機能を強化・バージョンアップした「飛翔雲」の提供開始(2012年7月)

【タイ】

- ・インテックシステムズバンコクを設立(2012年2月)
- ・株式会社レント(総合レンタルビジネス)のタイ現地法人の会計システム刷新をインテックシステムズバンコクが受注(2013年3月)

【シンガポール】

- ・TISIシンガポールを設立(2012年1月)
- ・クオリカアジアパシフィックが人員補強・現地サポート体制を強化(2013年3月)

⇒中国事業での経験を活かし、東南アジア市場で事業拡大を推進

- (1)コマツ等、製造業顧客の東南アジア事業展開のサポート体制強化
- (2)製造業向け:「AToMsQube」
- (3)流通業向け:「TastyQube」、「SpecialtyQube」

目標:2015年 売上高10億円規模への拡大

【ベトナム】

- ・グローバルBPO事業展開のため、FPTグループとの間で合併会社設立に関して基本合意(2013年3月)

<ITHDグループ海外拠点一覧(2013年5月現在)>

中国	北京:北京駐在員事務所(TIS)、北京TIS	上海:TISI上海、インテック上海、クオリカ上海	ベトナム	ホーチミン駐在員事務所(TIS)、オーテックベトナム
	天津:天津TIS海泰、天津市雷智、TIS数字	西安:北京TIS(西安分公司)	タイ	インテックシステムズバンコク
	大連:インテック大連	武漢:インテック武漢	シンガポール	TISIシンガポール、クオリカアジアパシフィック

各社の社名は略称で表記しています。

アグレックスがグローバルBPO事業展開のため、ベトナム民間最大手IT企業であり、従来から当社グループと親しい関係にあるFPTグループとの間で、合併会社設立に関して基本合意(2013年3月)



・日本で培ってきた高品質BPOノウハウ



・豊富な人材力  
・オフショア・ソフトウェア開発で培った経験

### 合併会社「F-AGREX(仮称)」

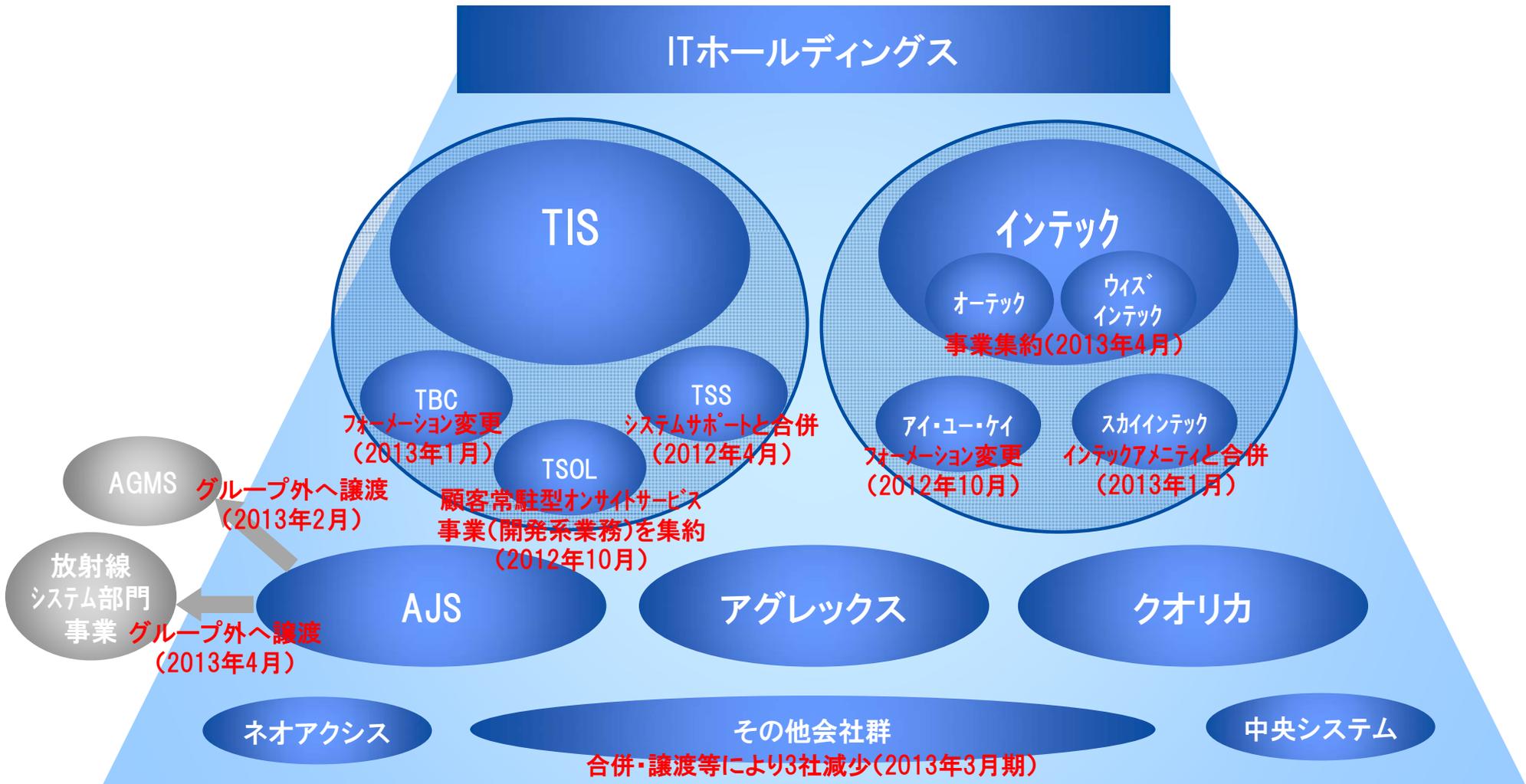
- ・ITHDとFPTを含む4社出資により設立予定
- ・高品質で低価格なBPOサービスを提供
- ・設立時期:2013年7月
- ・本社所在地:ホーチミンまたはハノイ
- ・従業員:500名規模(2015年)



2013年3月12日(於・ハノイ)  
ITHD、アグレックス、FPT、FPT Processing Serviceによる  
グローバルBPO会社設立に関する基本合意 調印式の様子  
写真左から、  
・アグレックス・山口社長  
・ITHD・岡本社長  
・FPTコーポレーション・ビン代表取締役会長兼社長  
・FPTソフトウェア・ティエン会長

※FPTコーポレーション・ビン代表取締役会長兼社長は、「ベトナム最大のIT企業の創設者。業界団体の設立や人材育成を通じ同国のソフトウェア産業を育てた」との理由で、第18回「日経アジア賞(経済発展部門)」を受賞されました。(2013年5月4日発表)

コア事業への集中、ビジネスモデル毎の集約を推進  
 (連結子会社数:2010年3月末 55社 ⇒ 2013年3月末 43社(▲12社))



TSS:TISシステムサービス、TSOL:TISソリューションリンク、TBC:TISビジネスコンサルタンツ

➤ 異動理由

新たな経営体制の下、より一層のグループ企業価値の向上を図るため

**新・代表取締役社長 前西 規夫**(現・ITHD 取締役副社長)

就任予定日:2013年6月25日



<ITHD 新経営体制(取締役一覧) 2013年6月25日時点(予定)>

役職	氏名	備考
代表取締役会長	金岡 克己	
代表取締役社長	前西 規夫	
取締役(非常勤)	桑野 徹	TIS代表取締役会長兼社長(兼任)
取締役(非常勤)	盛田 繁雄	インテック代表取締役会長(兼任)
取締役(非常勤)	滝澤 光樹	インテック代表取締役社長(兼任)
取締役(非常勤)	河崎 一範	AJS代表取締役社長(兼任) ※現・AJS副社長執行役員
取締役(非常勤)	加藤 明	クオリカ代表取締役社長(兼任)
取締役(社外)	小田 晋吾	
取締役(社外)	石垣 禎信	

グループ主要会社の  
経営トップが  
ITHD取締役を兼任

グループガバナンスと  
グループ各社間の  
連携を強化

2013/6/25の第5回定時株主総会における取締役選任議案の承認を前提としています。

2013年3月期 業績概要

2014年3月期 業績見通し

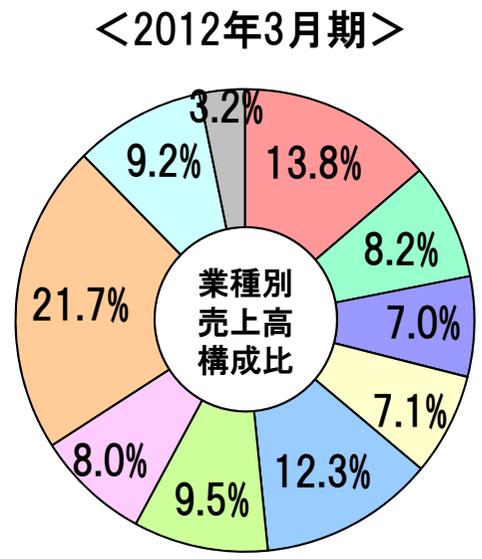
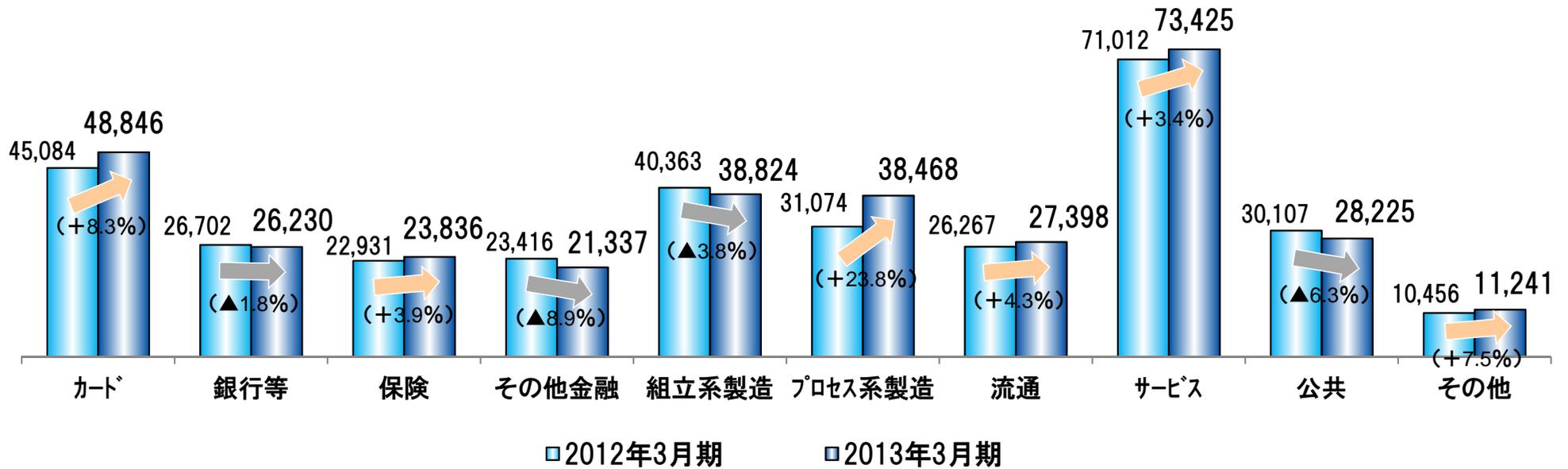
第2次中期経営計画の進捗状況・トピックス

**参考資料**

発表日付	タイトル
2013/1/7	環境未来都市構想への専門対応組織を設置(インテック)
2013/1/10	クオリカの生産管理システム「AToMsQube」が「JISA Awards 2013」を受賞(クオリカ)
2013/1/11	TIS「2012下半期 AWSパートナーアワード」を受賞(TIS)
2013/1/15	AJS、ITシステムの最適なパフォーマンスとリソース分析・予測・運用維持管理を実現するサイトライン製品 およびサービスの提供を開始(AJS)
2013/1/16	インテック、関西地域でのクラウドサービスを強化(インテック)
2013/1/16	ネクスウェイ、『NEXLINK Basic(ネクスリンクベーシック)』の提供開始(ネクスウェイ)
2013/1/21	TIS、PostgreSQLを中心としたOSSを活用した『OSSマイグレーションサービス』の提供を開始(TIS)
2013/1/28	事業譲受に関するお知らせ(AJS)
2013/2/1	インテック、横浜銀行の次期リテール顧客向けCRMシステムを国内地方銀行初のプライベートクラウド型サービスで提供(インテック)
2013/2/1	クオリカ、クラウド型Web-EDIサービス「EDIQube」を提供開始(クオリカ)
2013/2/5	TIS、eラーニングシステム「楽々てすと君」の中国語版『百測無憂』をノーリツの中国現地法人に導入(TIS)
2013/2/6	路面電車セントラムにてICTを活用した「富山型まちなかアプリ」検証イベントを実施(インテック)
2013/2/12	ネクスウェイ、チェーンストアの売れている・売れてない店舗の店長意識調査(ネクスウェイ)
2013/2/13	GRANDITコンソーシアムのプライムパートナーにAJS株式会社が昇格(AJS)
2013/2/20	TISが、日立ソリューションズの「リシテア」を使ったSaaS型勤怠工数管理サービスを提供開始(TIS)
2013/2/26	TIS、スマートデバイスからセキュアに社内PCにアクセス可能なSaaS型リモートアクセスサービス『RemoteWorks Mobile』の提供を開始(TIS)
2013/2/27	個人投資家を対象とした投資及び景気動向に関する1月度「定点観測レポート(第15回)」発表(キーポート・ソリューションズ)
2013/3/1	QUICKとキーポート・ソリューションズ、仮想株式取引サイトの新会社「Fanet(ファネット)」を設立(キーポート・ソリューションズ)
2013/3/1	子会社の商号変更に関するお知らせ(TIS)
2013/3/6	TIS、システムインフラのクラウド選定コンサルティングサービス『Cloud × Vision』の提供を開始(TIS)
2013/3/11	インテック、魚津水族館と共同で、スマートフォン用アプリ「魚津水族館ARおさかな図鑑」を開発(インテック)
2013/3/12	アグレックスとFPT Software BPO事業を行う合弁会社の設立に関して基本合意(アグレックス)
2013/3/14	富山県立大学にて公開寄附講義を開講(インテック)
2013/3/18	インテック、セルフポータル型のパブリッククラウドサービス「EINS/SPS SelfPortal」を提供開始(インテック)
2013/3/21	TISの『国際ブランドデビットカード プロセッシングサービス』をあおぞら銀行が採用(TIS)
2013/3/25	6社共同で、「金融機関向け『Amazon Web Services』対応セキュリティリファレンス」を改訂し第1.1版を公開(TIS)
2013/3/27	アグレックス、テキストマイニング用辞書「TERMANAGE(タームマネッジ)」の販売を開始(アグレックス)
2013/3/29	レント・タイランド、クラウド上で「A.S.I.A.」を導入し、タイのレンタル事業を促進(インテック)
2013/3/29	クオリカ、東南アジア事業拡大に向け、シンガポール子会社の体制を強化(クオリカ)

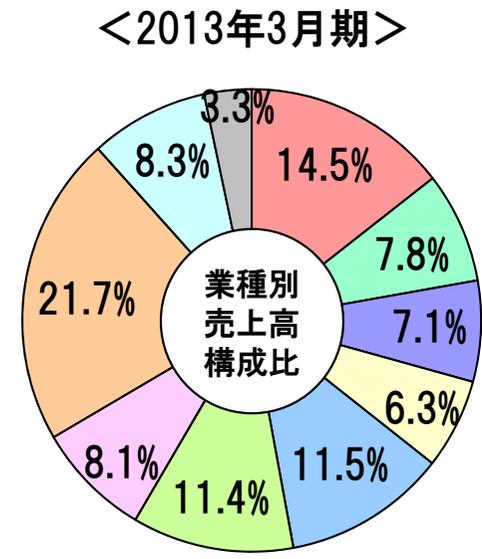
# 【参考】2013年3月期 業種別売上高

(単位:百万円)



金融分野:36.1%    産業分野:51.5%  
 公共分野:9.2%    その他:3.2%

- カード
- 銀行等
- 保険
- その他金融
- 組立系製造
- プロセス系製造
- 流通
- サービス
- 公共
- その他

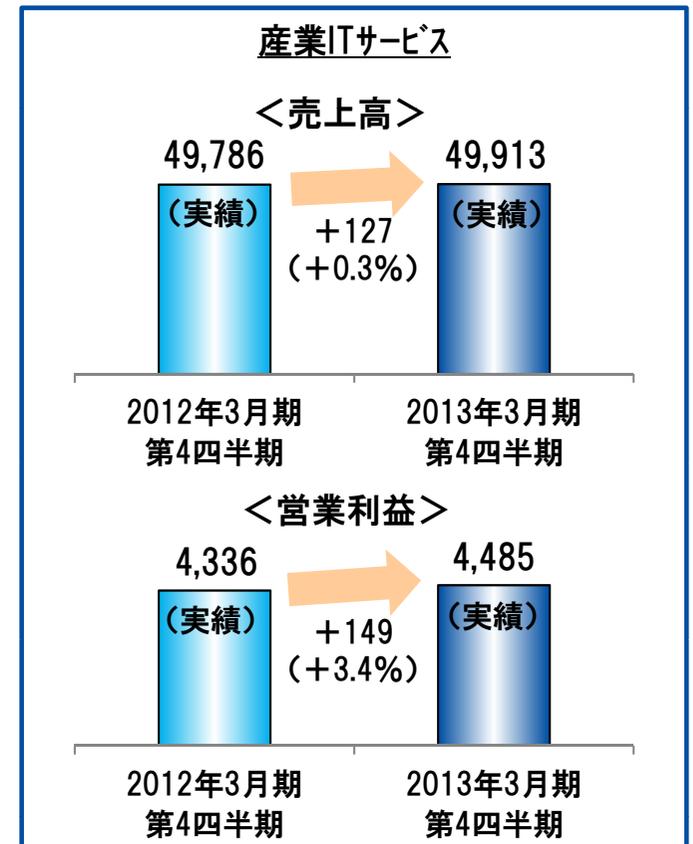
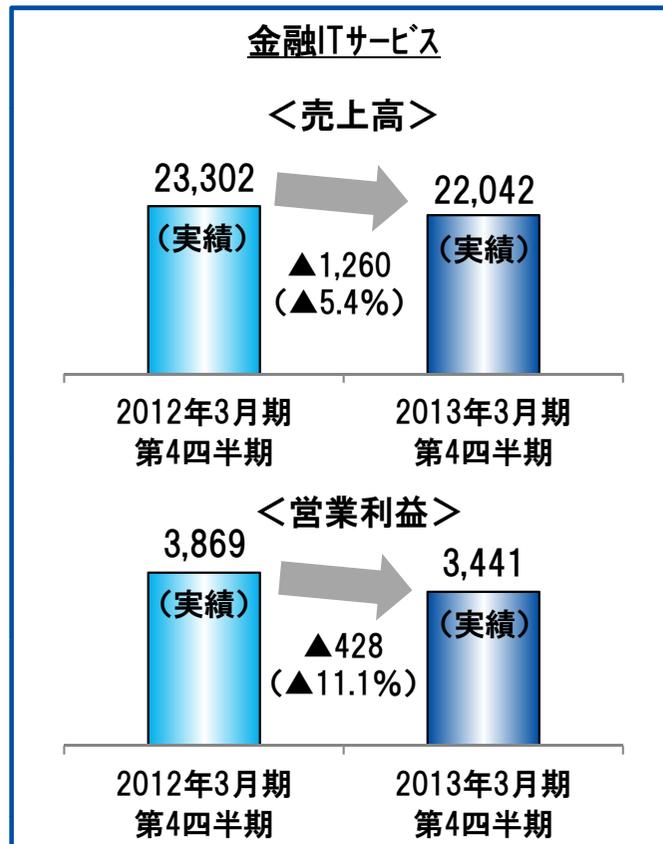
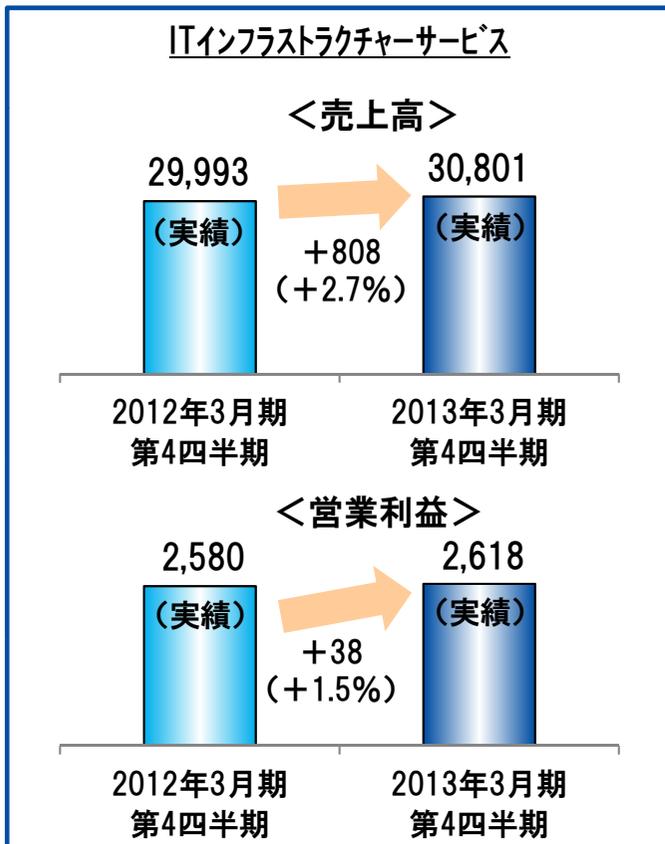
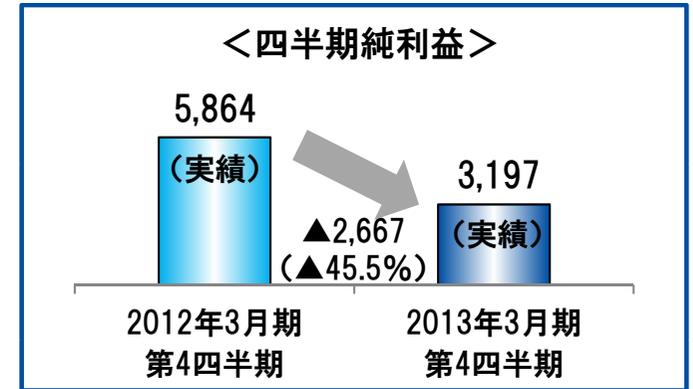
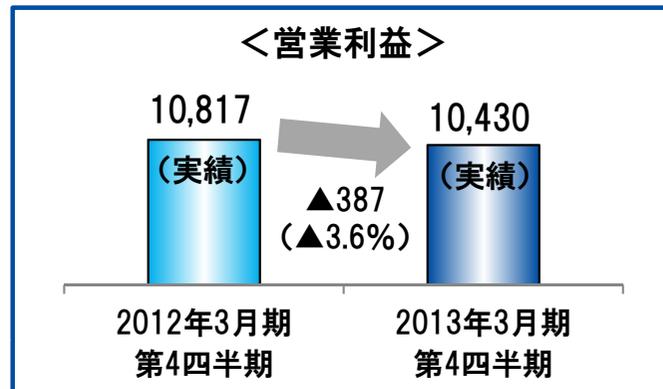
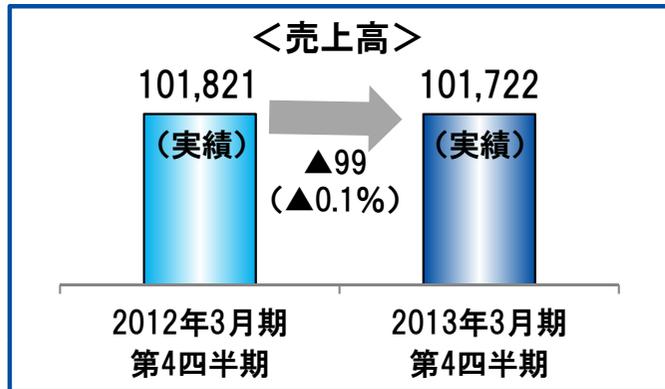


金融分野:35.7%    産業分野:52.7%  
 公共分野:8.3%    その他:3.3%

【参考】2013年3月期第4四半期 業績ハイライト・主要セグメント別損益 (単位:百万円)



IT Holdings



各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

これまで培ってきた技術・ノウハウ等をもとに、時流を捉えながらサービス化への対応を推進



SaaS型着信管理サービス  
「Callノート」



顧客接点強化サービス  
「Callクレヨン」

- ・Web開発で蓄積したノウハウ
- ・ネットワーク運用で蓄積したノウハウ

▶ 「クラウドテレフォニー技術」の確立  
⇒ 電話機・電話網の音声とWebの統合による  
高度な音声コミュニケーションを実現

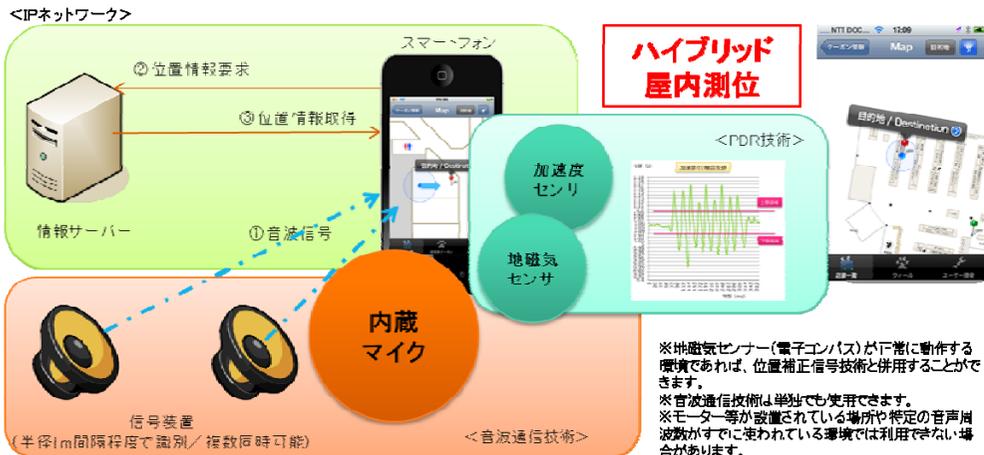
<採用例>

- ・楽天トラベル(Callクレヨン)
- ・「ホットペッパー グルメ(リクルート)」(Callノート)
- ・「ビッターズ(ディー・エヌ・エー)」(携帯電話認証サービス)

「スマートフォン向け屋内位置推定技術」の独自開発

- ・スマートフォンの急速な普及
- ・拡大の見込まれるO2O(Online to Offline)関連ビジネスへの取り組み推進

スマートフォン内蔵センサーとマイクを活用した世界初のハイブリッド方式により、GPS衛星の電波が届かない屋内や地下空間での位置推定を高精度(誤差1メートル~数メートル)で実現



クラウド型デスクトップサービス  
「Thin Office VDI」



- ・様々な企業における生産性向上等に向けたワークスタイル改革を目指す取り組みの強まり
- ・最新のICT技術(仮想デスクトップ技術・ユニファイドコミュニケーション・ゼロクライアント)の活用推進

次世代オフィス環境「Thin Office」を構築するとともに、このノウハウを活用したサービスを外部提供

これまで培ってきた技術・ノウハウ等をもとに、時流を捉えながらサービス化への対応を推進

**AToMsQube**

生産管理システム  
「AToMsQube(アトムズキューブ)」

- ・主要顧客向けシステム開発で培った技術・ノウハウの活用
- ・中国等での生産管理システムの導入・強化ニーズ
- ・グローバル展開を念頭に置いた設計思想(多言語・クラウド対応)

**CareQube**

予防保全支援システム  
「CareQube(ケアキューブ)」

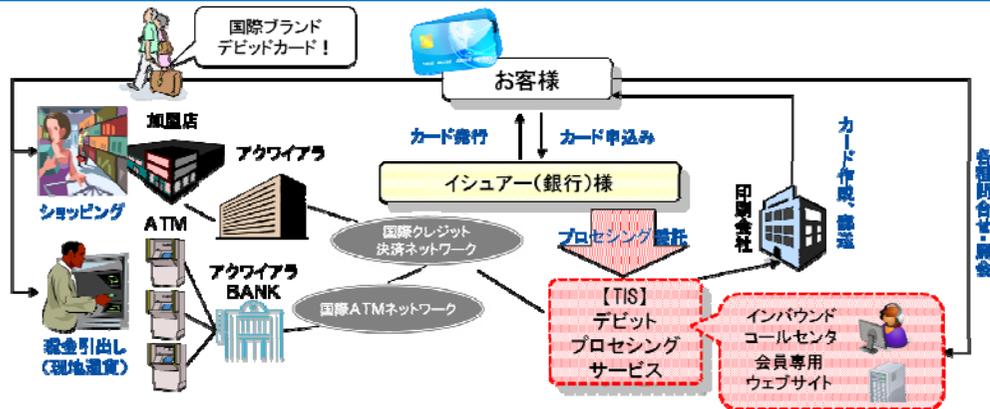
- ・大手顧客との取引から得たノウハウ・技術の活用
- ・“ものづくり”領域からアフターマーケットの領域へのビジネス拡大
- ・機械の稼働状況の見える化、業界初クラウド対応

「国際ブランドデビットカード プロセッシングサービス」

- ・長年携わってきた信販会社等の決済システム構築・運用ノウハウの結集
- ・「クレジットカードシステム」から「広義決済システム」への展開強化

国際デビットカードの発行・運営に必要なサービスをワンストップで提供し、金融機関のブランドデビットカード事業の低コストかつ早期立ち上げを支援

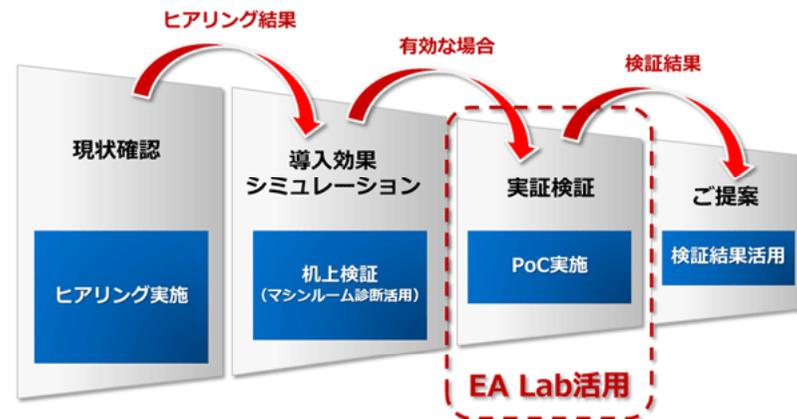
あおぞら銀行が採用、2013/3/4から「あおぞらキャッシュカード・プラス (Visaデビット機能つき)」の取扱いを開始



「TIS Enterprise Architecture Laboratory」

- ・ビジネステーマの多様化に合わせた企業活動を支えるITシステムの多様化や複雑化
- ・ビッグデータ活用等、ITシステムのパフォーマンスが企業競争を勝ち抜くための重要な要素となる

ITシステム更改による投資対効果をより確実なものとするための研究・検証施設を開設、効果的なIT戦略の立案を支援

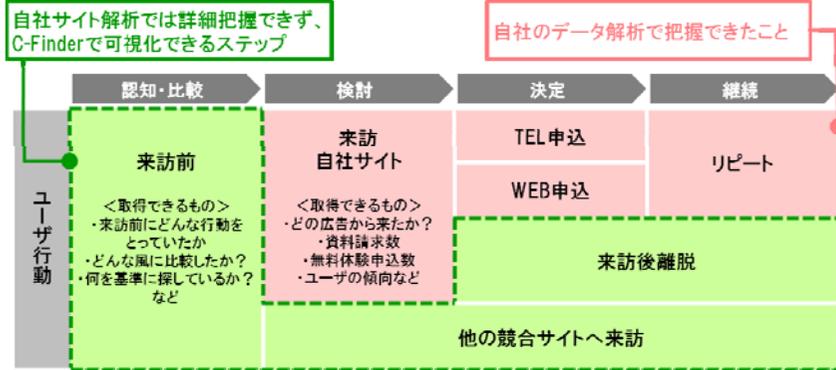


これまで培ってきた技術・ノウハウ等をもとに、時流を捉えながらサービス化への対応を推進

ビッグデータ解析プラットフォーム『C-Finder』の共同開発

- ・企業のマーケティング活動において重要性を増すビッグデータ関連ビジネスへの取り組み推進

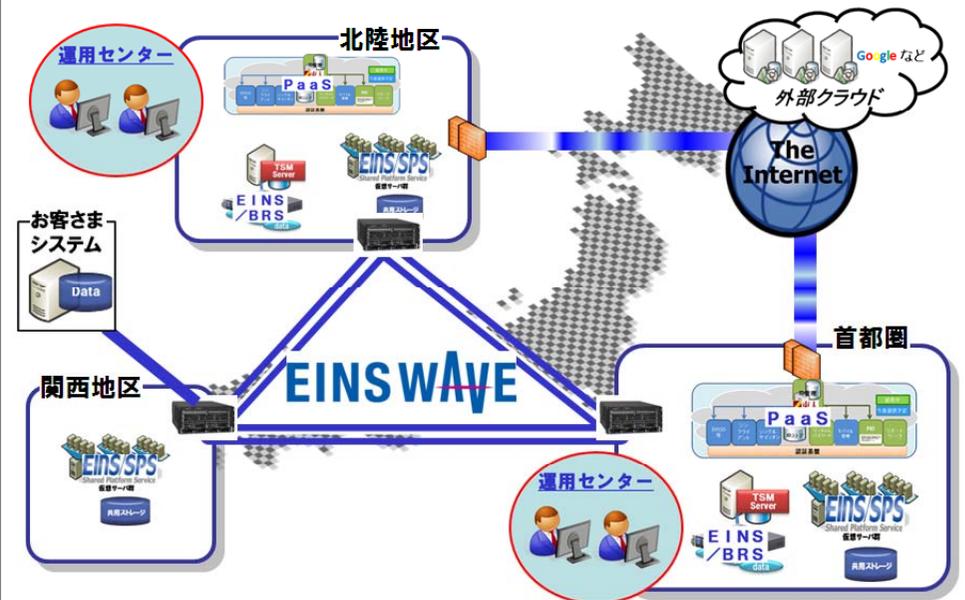
10万人を超えるアクセスログデータ・1万人のアンケートデータ(株式会社オプト保有)を活用し、多様化する消費者行動を可視化(開発・販売・導入サポートの共同実施についてオプト及び数理システムと合意)



国内初の広域仮想クラウドサービス「EINS WAVE」

- ・クラウド特有のサービスへの対応(従来と同様の高い品質を維持しながらも、必要な機能・メニューを選択して使用)

国内3地域(首都圏、北陸、関西)のデータセンターを接続。各データセンターで稼働するクラウドサービスを、二重化した運用管理体制のもとで全国規模の1つの仮想クラウドサービスとして提供





## IT Holdings

**(ご注意事項)**

- ・本資料ではITホールディングスを略称名(ITHD)にて記載しています。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、ITHDグループ(ITHDおよびグループ会社)が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・各四半期会計期間(3カ月)の数値は累計期間の差引により算出しています。